

かわしま



議会だより

9月定例会

No.102

平成 25 年 11 月 25 日

9月定例会審議結果

委員会の動き

所管事務調査

一般質問 町の考え方を問う



写真提供：町民カメラマン 岡部 俊夫さん

総額 64 億円

決算 7 会計を認定

9月 定例会

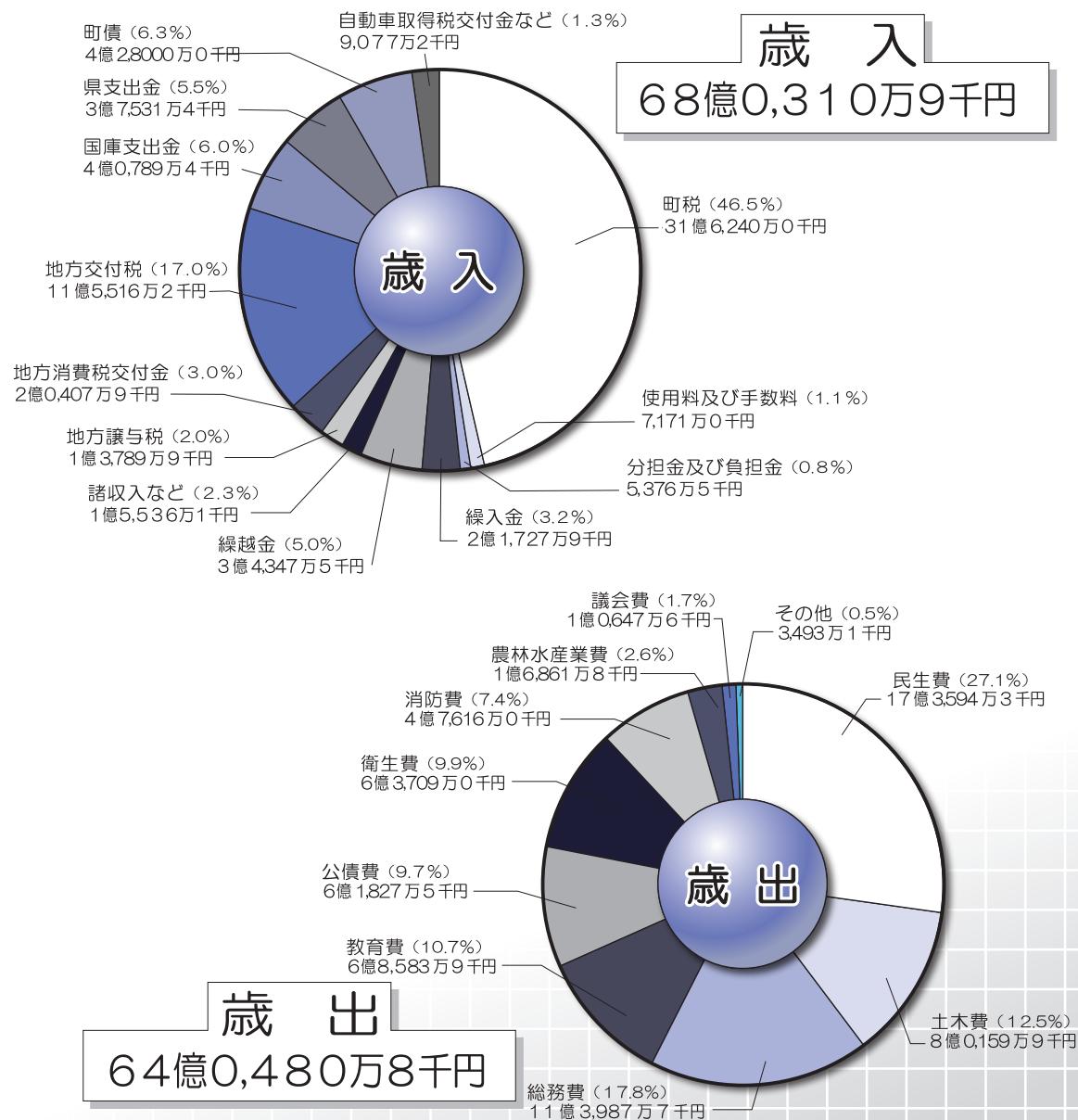
9/3 ~ 9/18

一般会計決算など 16議案を審議

9月の議会定例会が9月3日から9月18日までの会期16日間で行われました。この議会では、平成24年度一般会計歳入歳出決算など16議案と請願1件が審議され、全て原案可決・採択されました。また、一般質問には4人が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な内容は次のとおりです。

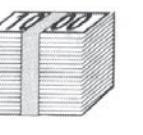
平成24年度 一般会計歳入・歳出決算



一般会計決算

平成24年度

一般会計 (町民一人当たり : 29万5,411円)

	民生費 8万0,067円 (前年: 7万3,777円)		土木費 3万6,972円 (前年: 3万3,559円)		総務費 5万2,575円 (前年: 5万5,866円)		教育費 3万1,633円 (前年: 3万1,203円)		衛生費 2万9,385円 (前年: 3万0,425円)
	消防費 2万1,962円 (前年: 2万3,433円)		農林水産業費 7,777円 (前年: 7,699円)		議会費 4,911円 (前年: 5,495円)		公債費 2万8,517円 (前年: 3万1,146円)		その他 1,611円 (前年: 2,437円)

町人口 21,681人 (平成25年4月1日現在)

平成24年度 特別・企業会計決算

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険特別会計	26億2,004万0千円	25億1,276万8千円	1億0,727万2千円
学校給食費特別会計	8,712万4千円	8,675万8千円	36万6千円
下水道事業特別会計	4億7,650万9千円	4億6,219万0千円	1,431万9千円
介護保険特別会計	14億1,530万4千円	13億8,606万6千円	2,923万8千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,379万8千円	1億5,131万6千円	248万2千円
合 計	47億5,277万5千円	45億9,909万8千円	—
水道事業会計	事業収益 4億7,111万9千円	事業費用 5億0,551万5千円	純利益 ▲3,439万6千円
	資本的収益 4,543万0千円	資本的支出 1億3,150万8千円	收支差引額 ▲8,607万8千円

*水道事業会計の収入不足については、損益勘定留保資金などにより補てんしています。

9月 定例会

議案審議結果

平成25年9月定例会の主な議題の審議結果は下記の通りです。

議案番号	議 案 名	採決結果
	議 案 内 容	
議案第54号	川島町子ども・子育て会議条例を定めることについて 子ども・子育て支援法が施行されたことに伴い、新たに川島町子ども・子育て会議を設置するものです。	全員賛成 原案可決
議案第55号	川島町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例を定めることについて 協議会の事務を子育て支援課において処理するとするものです。	全員賛成 原案可決
議案第56号	平成25年度川島町一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ1億3,347万円を追加し、総額を63億7,184万8千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第57号	平成25年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ9,727万1千円を追加し、総額を27億7,899万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第58号	平成25年度川島町介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ2,842万3千円を追加し、総額を14億7,142万3千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第59号	平成25年度川島町水道事業会計補正予算（第2号） 収益の支出の予定額を4万6千円追加し5億1,665万8千円とし、資本的支出額を46万2千円追加し1億6,291万8千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第60号	平成24年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について 歳入総額68億310万8,931円、歳出総額64億480万7,617円として、認定を求めるものです。	賛成多数 原案認定
議案第61号	平成24年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額26億2,004万141円、歳出総額25億1,276万8,311円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第62号	平成24年度川島町学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額8,712万3,897円、歳出総額8,675万7,966円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定

審議結果

議案番号	議 案 名 議 案 内 容	採決結果
議案第63号	平成24年度川島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額4億7,650万9,407円、歳出総額4億5,218万4,680円として、認定を求めるものです。	全員賛成原案認定
議案第64号	平成24年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額14億1,530万3,575円、歳出総額13億8,606万5,781円として、認定を求めるものです。	全員賛成原案認定
議案第65号	平成24年度川島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額1億5,379万7,647円、歳出総額1億5,131万6,053円として、認定を求めるものです。	全員賛成原案認定
議案第66号	平成24年度川島町水道事業会計決算認定について 収益的収入を4億7,111万8,597円、収益的支出を5億1,896万5千円。資本的収入を4,543万375円、資本的支出を1億3,150万7,791円として認定を求めるものです。	全員賛成原案認定
議案第67号	町道路線の廃止について（町道4412号線） 町道4412号線について、道路形態が無く通行できないため廃止するものです。	全員賛成原案可決
議案第68号	町道路線の認定について（町道2375号線） 町道2375号線について、県への占用に伴い新たに認定するものです。	全員賛成原案可決
議案第69号	工事請負契約の締結について（飯島3号雨水幹線工事13-1工区） 飯島3号雨水幹線工事13-1工区の請負契約を締結するものです。	全員賛成原案可決
請願第1号	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について 「新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について」の請願書について審議するものです。	賛成多数採択

各議員の賛否（○は賛成、×は反対、ーは議長）

議 案	議 員 氏 名														審議結果	（※議員名は、議席順となっております。）
	新井 悦子	栗岩 輝治	石川 征郎	飯野 徹也	森田 敏男	爲水 順二	土屋 祥吉	佐藤 芳男	吉田 豊子	尾崎 宗良	道祖土 証	山田 敏夫	小高 春雄	菊地 敏昭		
町 長 提 出	議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	議案第56号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	ー	可決
	議案第57号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	議案第60号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	認定
	議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
	議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	可決
請願	請願第1号	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	ー	採択

町の考え方を問う

町政一般質問要旨

9月17日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

- ・職員の健康管理について
- ・インター南側開発について

道祖土証議員

- ・子どもの安全について
- ・健康マイレージの取り組みについて
- ・「いじめ防止対策推進法」制度について

新井悦子議員

- ・川島町新庁舎建設基本設計案について
- ・公共工事設計労務単価について

飯野徹也議員

- ・川島町新庁舎建設基本設計案について
- ・公共工事設計労務単価について

栗岩輝治議員

新庁舎建設費で、当初計画時は3階建てで、免震構造を予定していましたが、2階建てに変更となり、免震構造の中止に伴い1割のコストダウンになると金額で1億4千万円が削減可能になる。又、サッカーフィールドの代替地として県の防災基地を無地の代替地として県の防災基地を無



**新庁舎建設費は
コスト削減が可能では
コスト削減を
検討いたします**

問 答

くり わ て る じ
栗 岩 輝 治

ある程度具体化した中でなるべくコスト削減を検討いたします。
答 周辺の公共施設の利用分を考慮しない理由は。

答 周辺公共施設の利用率、空室率を勘案し、町民の方々に不便をきたさない頃合いを見ながら検討を進めています。

問 新庁舎の形状が円弧状ですが、コスト面で割高が懸念されるが。
答 円弧状でも、直線構成なのでさほどコストアップにはなりません。

問 新庁舎のレイアウトが判断できる資料を町民に知らせる必要があると思うが町の見解は。

答 ホームページ等にていつでも質問など受け付けており丁寧にお答えしております。

問 公共工事に従事する若年層の減少対策として、国交省から公共工事の設計労務単価を約15%アップの通知が出されています。当町での対応は。

答 国の決定に伴い単価の改定をしております。概算設計で見積つており、実際の契約段階で当初予算内の工事発注が可能だと判断しております。



コミセンと町民会館は、
共用施設とされています



防災基地内のサッカー場予定地

問 庁舎移転に関連してサッカー場としての機能、及び駐車場の代替えについてどのように考えているのか。

答 県の中央防災基地の空地を無償で借用できることとなり、この場所を整備するよう進めています。臨時駐車場については総合グラウンドの活用など工夫しながら対応してまいります。

問 新庁舎へのアクセス道路の整備計画は。また、埋設されている配水管の耐震化計画の考えは。

問 新庁舎へのアクセス道路の整備計画は。また、埋設されている配水管の耐震化計画の考えは。

答 本庁舎・別館は解体し、第3庁舎は借地のため解体し返還できるようになります。第2庁舎は検討しています。保健センターの建物は今後とも利用し、現庁舎跡地は駐車場として考えております。

答 不用品買い取り、リサイクル業者の施設に対する実態の把握と、指導対応はいかにしているのか。

答 県の景観条例、建築基準法や都市計画法に基づき、関係機関と連携し調査、指導してまいります。

問 防災基地内に整備を考えています

答 飯野徹也



問 毎年、夏になると不審者が多く出没しています。子どもが事件に巻き込まれることのないよう、特に下校時に一人になつた時の対策について町はどう考えているのか伺います。

答 町は防災行政無線や、かわべえメールを活用し周知しています。関係機関に協力をいただき、青色回転灯装着車の台数を増やすなど防犯対策を強化します。教育委員会では、今後も、安全対策の向上と子どもの危険回避能力の育成に努めてまいります。

問 見守り隊の方々との顔合わせはできないか。

問 見守り隊の方々との顔合わせはできます。

問 校長会の会議の折に要請しています。

答 電子タグを活用した児童見守りシステムの導入は考えられないか。

問 平成27年度から町の電算システムを変える予定で準備を進めていますが、その中で対応できるか検討していければと考えます。

問 健康マイレージなどの取り組みを実施している町村もあるが、町はどうのような取り組みを考えているか。

答 一人一人が安心して元気に暮らせるまちづくりを目指し、特定健診の推進や健康づくり事業に参加できるように取り組んでいきます。

問 いじめ防止対策推進法が9月28日に施行されます。法律では、重大ないじめが発生した場合、地方自治体に報告することが義務付けられています。町はどのように取り組むのか伺います。

答 国の方針策定後、埼玉県教育委員会からの情報提供や指導を受け、基本方針を検討していく考えです。

問 子どもの登下校時の安全対策は

答 関係機関と連携し安全対策を強化します

あら
新
い
井
えつ
悦
こ
子



登下校時の様子

総務経済建設常任委員会 所管事務調査

①調査期間 平成25年7月2日～3日
 ②視察地 静岡県南伊豆町
 ③視察課題
 (1) 同規模新庁舎建設の実例について
 (2) 公共交通のシステム化について
 静岡県富士市



南伊豆町役場前にて

静岡県南伊豆町は、静岡伊豆半島の最南端に位置し東西 $11 \cdot 5$ km、南北 $9 \cdot 7$ km、面積 $110 \cdot 59$ km²、人口約9,400人であります。全体の8割が山林であり、農耕地はわずか1割程度です。

南伊豆町の旧庁舎は、昭和30年7月の六か村合併に合わせて建設され、昭和34年1月に竣工したもので、昭和50年には議場の増築、平成元年に防災センターの増築を重ね、行政の機能効率を図りながら建物の維持補修に努めてきたが、ここ数年は数

か所にわたる雨漏りや空調設備等の不具合が當時起きた状態であつたとのことです。さらに、今後想定される大規模地震に対する耐震性などを鑑み、町の防災拠点・災害時の最前线基地としての役割を十分發揮できる庁舎を、との思いをもち、新庁舎建設に踏み切ったとのことでした。

建設中の平成23年3月11日には東日本大震災が発生し、防災拠点としての役場庁舎の重要性が一層明確となり早期の完成が望まれ、平成23年12月に念願の庁舎本体が完成したとのことでした。

建物の具体的特徴は、鉄骨造3階建てで強度の耐震設計であります。事務エリアの窓口カウンターは曲線の配置を取り入れ、業務案内表示も分かりやすく色分けになっていること等、来庁者の立場になつた優しい見通しの良い視線誘導に工夫がなされていました。

静岡県富士市は、日本三大急流のひとつである富士川が市の西部に流れ駿河湾に接続しています。今年6月22日に世界文化遺産として登録された富士山の南側にあり、古くから多数の製紙工場があり、産業の中心となっております。面積は245・02km²、人口約260,000人であります。

富士市の公共交通のシステム化は、計画策定の背景には、高齢化の進行、地球環境問題の深刻化、中心市街地の衰退など大きな変化が生じ、高齢者の暮らしの足の確保、移動に伴う環境負荷の低減など、マイカー依存から公共交通重視への移行が求められておりました。平成19年に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が施行されたことに伴い、公共交通活性化・再生の目標として、公共交通利用可能エリアの拡大、安全・安心で質の高い運送サービスの提供、まちづくり施策等との連携強化、みんなで創り・育て・守る機運の醸成の4つを掲げて取り組んでいました。特に工夫されていた点は公共交通の充実は利用者だけでなく、富士市全



富士市での研修

体に便益をもたらす、と市民が認識しているところです。公共交通の充実は、まちづくりの目標を達成するための一つの手段と位置づけているとのことでした。

公共交通に対する税金投入だけを見ると、そのことによってもたらされる別予算、公共交通促進の結果、高齢者の外出が増えて健康に繋がり、介護保険予算にかかる税金投入額の削減効果も視野に入れ、トータルでみて財政的に望ましいかどうか分析しているとのことでした。

文教厚生常任委員会 所管事務調査

①調査期間 平成25年7月12日～13日
 ②視察地 大阪府豊能町
 京都府宇治田原町

(1) 認定子ども園の取り組みについて
 (2) 循環型社会実現のための活動について



豊能町での研修

大阪府豊能町は、京都府と兵庫県に接し標高が500mと高く「大阪の軽井沢」などと称されています。面積34・37km²、人口2万800人です。特産品は、米、漬物など、主要産業は、林業、農業です。

豊能町では、「人とみどりが輝くまち」をスローガンに教育・子育てのまちづくりを推進しています。

地域における乳幼児保育・教育機能が充実したものとなるよう、平成18年に子育て健康福祉課と生涯学習課が協同で幼保一元化の検討に入りました。

東地区では、保育所1か所と幼稚園1か所を統合し、大阪府としては初めての認定こども園「町立ふたば園」を開園しました。

西地区では、2か所の幼稚園を拡大統合した「町立ひかり幼稚園」と、存続の保育所に新たな子育て機能を加えた「地域子育て支援センターすきっぷ」となりました。

再編された3園は、保育・教育の実施、「幼保一元化カリキュラム」が実施されています。特に認定こども園「町立ふたば園」で配慮された点は、4・5歳児は幼保混合クラスを編成し、共通した保育・教育を行い、幼稚園部児童には午後5時までの預かり保育を実施して、選択制のプログラムが作成されておりました。

また、活動として、「電気自動車の歴史と将来展望」と題した講演会、生ごみを出さない生活のための「エコッキング教室」、子どもたちを対象とした「ふるさとの川探検」な

21年に所管が教育総務課に一元化されました。

豊能町の生活圏は、大きく分けて東地区、西地区となっています。平成22年度までは、公立保育所2か所、公立幼稚園3か所がありました。

東地区では、保育所1か所と幼稚園1か所を統合し、大阪府としては初めての認定こども園「町立ふたば園」を開園しました。

西地区では、2か所の幼稚園を拡大統合した「町立ひかり幼稚園」と、存続の保育所に新たな子育て機能を加えた「地域子育て支援センターすきっぷ」となりました。

西地区では、2か所の幼稚園を拡大統合した「町立ひかり幼稚園」と、存続の保育所に新たな子育て機能を加えた「地域子育て支援センターすきっぷ」となりました。

宇治田原町は「人と自然、産業が融合するまち」をスローガンに環境保全への配慮を心がけ産業廃棄物処理等の義務づけを行っています。

宇治田原町は「人と自然、産業が融合するまち」をスローガンに環境保全への配慮を心がけ産業廃棄物処理等の義務づけを行っています。

望ましい環境像「茶文化の源、水・緑・生命の環を育む和みのまち宇治田原」を達成するため5つの基本理念が設定されました。平成16年「エコパートナーシップ宇治田原」が結成され、住民・事業者・行政が一体となって環境の保全に取り組んでいます。この活動は、行政が作成する「環境保全計画」の進行の管理を住民団体が行います。取組状況の公開、取り組み状況の客観的評価のうえで、すこぶる先進的であります。

また、活動として、「電気自動車の歴史と将来展望」と題した講演会、生ごみを出さない生活のための「エコッキング教室」、子どもたちを対象とした「ふるさとの川探検」な



宇治田原町での研修

埼玉県町村議会議員研修会

平成25年度埼玉県町村議会議員研修会が、10月18日（金）に吉見町民会館（フレサよしみ）にて行われました。講演は、「地域の宝」「ご当地グルメ」であることを元気に！「B-1グランプリ」と食のまちおこし」というものでした。講師は（社）愛Bリーグ専務理事兼事務局長、俵慎一氏でした。

第1回B-1グランプリは平成6年に青森県八戸市で開催されました。その後その大会では、現在では有名になった、静岡県の富士宮やきそばを出品した富士宮やきそば学会という団体がグランプリとなりました。その後も全国各地で毎年開催されており、今年は愛知県豊川市で開催される予定です。

俵氏は、B-1グランプリは「日本最大級のグルメイベント」として紹介されることがあるが、料理を売ること自体を目的としているのではなく、料理を通じて「地域をPRする」ことで、一人でも多くのお客様に現地に足を運んでもらうための、地域活性化を目的とした「まちおこしイベント」であるとのことでした。

また、この大会は日頃から、地域でまちおこしに力を入れて活動して



講師 俵 慎一氏

いる団体の、まちおこしのお披露目の場であるとのことでした。川島町も、地元の人々に愛されている地域の名物料理や郷土料理を活かして自分たちのまちを知つていただき、町のPRを進めたいと感じました。

（尾崎）

平成24年4月26日を第一回とする、町の継続的な「新庁舎建設検討委員会」への出席及び「議会全員協議会」での意見調整、並びに平成25年度の「まちづくり懇談会」への出席等を重ねて参りました。

更に、平成24年7月20日には議会単独で「近年における同規模庁舎建設事例視察」として、群馬県明和町庁舎及び群馬県邑楽町庁舎の視察研修、並びに平成25年7月2日には「総務経済建設常任委員会行政視

察」として、静岡県南伊豆町庁舎の視察研修を実施して参りました。こうした経緯をもとに、議会としての要望事項を整理いたしました。

主要な要望の内容は、

- ①新庁舎歩行者動線及び車両動線の配慮
- ②構造等の安全性の配慮
- ③建設コストの縮減の配慮
- ④議場設備のシステム化の配慮

川島町議会だより (No.101／8月26日配付)

・掲載の一部内容の補足説明について

川島町議会だよりNo.101「議会一般質問 町の考え方を問う」5ページ下段で、質問の見出しにある問の「小学校の統廃合の考え方」に対する町の答弁内容が、町民の皆様に誤解を招くおそれのある表現となつておりました。

町の答弁の部分を以下のとおりとさせていただきます。

【補足後】
問 「小学校の統廃合の考えは。」
答 「昨年度から学校規模適正化研究会で検討していただき、今年度からは新たに検討委員会が設置され、検討がなされ進められます。空いた学校をどうするという建物利用を前提にした学校閉鎖は考えていません。検討委員会の考え方をもとに、方向性を見出して参ります。」

【補足前】
問 「小学校の統廃合の考えは。」
答 「学校閉鎖は考えていません。」

議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会では、調査研究事項として所管事務調査を下記の日程で実施しました。

調査事項	議会活性化について
調査方法	現地調査
調査日程	平成25年10月22日・23日

調査場所
栃木県高根沢町
茨城県大洗町

* 詳しい視察報告については次号（第103号）で報告いたします。

議会を傍聴しませんか？

誰でも議会を傍聴することができます。
議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。

12月の定例会
12月4日(水)
開催予定です。

議会日誌	
8月	
16日	庁舎建設議員検討会
26日	庁舎建設議員検討会
27日	議会運営委員会
	議会全員協議会
28日	議会報編集委員会
30日	議会報編集委員会
9月	
1日	防災訓練
3日～18日	9月定例会
3日	議会全員協議会
11日	庁舎建設議員検討会
13日	庁舎建設議員検討会
17日	議会運営委員会協議会
18日	議会全員協議会
	議会報編集委員会
10月	
13日	第45回町民体育祭
18日	議会全員協議会
	議会報編集委員会
	埼玉県町村議会議員研修会
22日～23日	議会運営委員会所管事務調査
11月	
7日	新潟県柏崎市議会行政視察受け入れ
15日	総務経済建設常任委員会協議会
	議会全員協議会

表紙解説

川島町では、平成二十五年度の「地域子ども教室」が各小学校区で展開されております。異年齢及び異世代のかかわりあいの中で、心豊かに、たくましく、自信を持つて生きることが目とされております。表紙は、「小見野つ子」の子どもたちが公民館に花植え体験を始める様子です。「とってもきれい」と、花に向けて声がかかると「水やりで恩返しだね」と、友だち同士の会話がありました。企画をしていただきリーダーの方々に御礼を申し上げるとともに、議会としても、全小学校区の「地域子ども教室」を応援しております。（文章／森田）

編集後記

夏の暑さも過ぎ去り、最近では朝晩の寒さが、秋から冬の訪れ近いことを思わせる季節となりました。

10月19～20日には川越まつりが開催され、雨天にもかかわらず56万人の観光客が訪れ盛大に幕を閉じました。

当町においても、町民体育祭はじめとする各イベントも町民皆様のご協力のもと大盛況で終了することができ、感謝致します。12月になりますと白鳥の飛来が始まりますので是非一度足を運んでみては！さて、議会だよりでは町民の皆様に議会の内容をお伝え致したく粉骨碎身、努力に励んでおります。本号より各議案の賛否を表により議員名で表示いたしました。是非ご覧いただきますようお願い致します。

議会だより編集委員会

相談役
菊 新 栗 爲 森 土 尾 崎
地 井 岩 水 田 屋 崎
敏 悅 輝 順 敏 祥 宗
昭 子 治 二 男 吉 良
委 員 長 副 委 員 長
(爲水)